

～多様な主体性を涵養する教育～



充実した日々の生活と工夫を凝らした行事を経験してきた2学期でした。年度当初から様々な経験を積み重ねて成長してきた子どもたちの姿は素晴らしいと感じました。また、気温が大きく変動する中で、小さなお子様の体調管理は大変だったと思います。このような中で保護者の皆さまは丁寧に子どもたちの健康管理をしてくださいました。そのお陰で今学期を無事に終えることができました。毎日、本当にありがとうございました。

伊賀の町へ ～地域の資源を活用して～

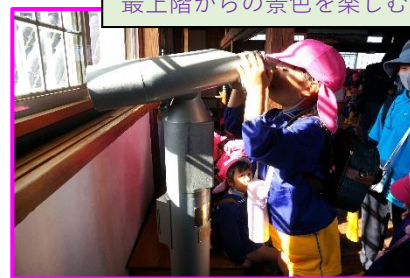
4歳児の活動例を紹介します。園生活に慣れ、気のあう友だちも増えて社会性が身につく、様々な事象に興味関心をもてるようになってきた頃をねらって伊賀の町に遠足に出掛けました。



伊賀上野城に到着



友だちと城内を見学



最上階からの景色を楽しむ



城付近を散策



忍者屋敷のからくりを観察



忍者博物館を満喫

だんじり会館内で鬼と遭遇



伊賀の文化遺産に出会いながら、4歳児なりに感じとっていたことがたくさんありました。「忍者が隠れて見てたね。」「忍者はスパイなの？」と伝えてもらったことに感激して自分の思いを言葉で相手に伝えていました。また、興味関心が深いため、教師からの投げかけの前に主体的に観察したり、行動したりしている姿には驚きました。これも普段の園生活で培っている力が基礎となり、園外学習に行っても生きていました。地域の資源を活用しながら、幼児の成長に合わせた学習計画をし、就学前の学びの基礎をさらに深めていきたいと思えます。

～新しい年の生活設計を立て、自主的な生活態度を身につけるために～



ドッジボールを楽しむ(5歳児)



友だちと見立て遊び(4歳児)

日々の園生活の積み重ねで生活力も身につけてきました。気のあう友だちも増えて、協同しながら遊ぶことも楽しめるようになりました。また、園では運動・遊び・生活も充実して過ごしてきました。このように子どもたちは生きていく力の基礎が育まれている時期です。

終業式後は、冬休みに入ります。家庭生活の中で様々な経験ができる機会だと思います。望ましい生活目標をもって生活を進めていくために「冬の生活表」を活用しましょう。そして、子どもたちには、家事や家業の手伝い等、家族の一員として役割がもてるようにかかわってみましょう。現代の課題でもあるスクリーンタイムを活用しすぎて生活習慣が乱れることのないように心掛けていきましょう。家族や地域の方々とのふれあいを楽しんだり、郷土に伝わる様々な生活文化にふれたりすることもいいですね。3学期は、さらに成長した子どもたちと過ごせることが楽しみで今からワクワクしています♡

大好きなPTAのみなさん

～保育参観・作品展 保護者講演会を通して～

保育参観にお越し頂き、子どもたちと積極的にかかわっておられる姿を見て、桃青の保護者の方々やはり素晴らしいと改めて感じました。あたたかいお家の方のかかわりは、子どもたちや私たちの元気の源になります。

また、それぞれの学年の子どもたちが役割をもって活動したり、自分の力で生活を進めたりしている姿を見ていただけたと思います。そして、普段から積み重ねてきた制作物を展示して見ていただきました。子どもたちの創意工夫が見られて私もうれしい気持ちになりました。

参観後は、浅井様に講演をしていただきました。目の前にある命との向きあい方の大切さを教わりました。貴重なお話をしていただいたり、参加して下さったりして感謝の気持ちでいっぱいです♡



ふれあい遊び【3歳児】



自ら選んでする遊び【5歳児】



【保護者講演会】

「ウクライナから考える子どもとの平和の向き合い方」

～Aさんのお家の方のかかわりから～

寒くなり始め、朝の登園に時間がかかるようになってきたAさんがいました。私も毎朝、笑顔で来られるようにとAさんと一緒に明日の目標をつくることにしました。その目標を小さな紙に書いてAさんに渡しました。それを受け取ったお家の方は、さらに工夫を凝らしてノートを作ってくださいました。今は、このノートを通してやりとりを続けています。少しの希望と目標をもち、乗り越えながら進んでいこうね。

Aさんのお家の方が作ってくださったノート
～今は家族みんなで記入～



2学期の省察に基づいて、さらに3学期はこまやかに教育ができるように努力を重ねていきたいと思ひます。保護者のみなさま今年も様々なご協力をして下さりありがとうございました♡

☆あさがおイラスト:よしのりさん

ぶんせき まつなが あい
【文責 松永 愛】